

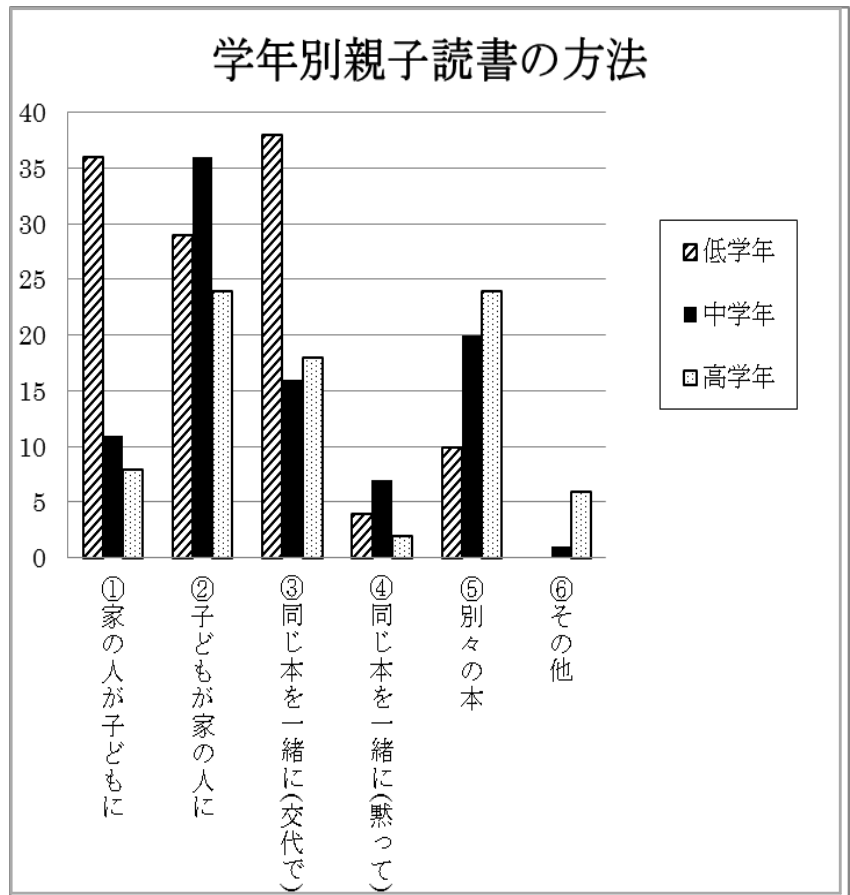


「親子読書」実施して

夏休みまでの「親子読書」の様子をまとめてみました。

親子読書の方法は？

学年によって、差があるようです。低学年は、「①家の人子どもに読み聞かせをする」「③同じ本を交代で読む」が多かったようです。中学年になると、「②子どもから家の人に読み聞かせをする」が一番多く、高学年では、「⑤同じ時間に別々の本を読む」方法も多く行われていました。いろいろな方法にチャレンジし、それぞれのよさを知ること大切でしょう。



子どもの感想

- ・ひさしぶりに、お母さんと読書ができて、うれしかった。
- ・くふうして、お母さんに読み聞かせることができた。
- ・これからも続けていきたい。

家の人感想

- ・一緒に読むことはなかったので、子どもの様子がよく分かった。
- ・感想を話し合うのも楽しい。
- ・日々時間に追われているので、親子読書の時間は貴重である。
- ・テレビを消して静かに読書ができた。
- ・様々な方法を試すことができ楽しく過ごせた。
- ・同じ本についての話題ができた。
- ・図書館をよく利用するようになった。
- ・親子のふれ合いの場となり、よかった。
- ・音読がだいぶ上手になったことに気づき、成長を感じた。
- ・普段から読書の時間を作るようにしようと思った。



9月からも継続していきたいと思います。〈9月19日(月)から〉

読み終わったら感想を話し合ったり、登場人物の気持ちを考えたりする時間もとれるといいですね。家族で本を読む時間を大切に、家族のつながりをより深めていただければと思います。